

No	事業No	事業名	事業目的/内容	総事業費(A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E)				補助対象外経費 (A) - (B)	事業成果	所管課	事業開始年月日	事業完了年月日
					対象経費(B)	国庫補助額(C)	交付金充当経費(D)	その他(E)					
1	1	三戸町庁舎感染拡大防止対策事業	行政サービスの維持・継続を図るため、庁舎内における新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、次亜塩素酸(消毒液)生成器1台を購入。	770,000	770,000		770,000		0	庁舎内やイベントにおける除菌作業に使用し、感染拡大防止につながっている。	総務課	R2.6.8	R2.7.31
2	2	学校施設感染拡大防止対策事業	児童の学業継続を図るため、町内の小中学校施設における新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、次亜塩素酸(消毒液)生成器1台を購入。	770,000	770,000		770,000		0	校舎や学校行事における除菌作業に使用し、感染拡大防止につながっている。	教育委員会	R2.6.8	R2.6.30
3	3	マスク配布事業	町内の新型コロナウイルス感染防止のため、マスクの購入と全世帯への郵送 マスク10枚/人 4,261世帯	3,772,971	3,772,971				0	全世帯へマスクを配布することで、日常生活における感染拡大防止に寄与した。	総務課	R2.5.11	R3.6.3
4	4	医療提供体制構築事業 三戸中央病院線出	新型コロナウイルス感染症の対応として必要となる医療提供体制等構築のため、緊急に必要な医療機器を整備することについて、三戸町立中央病院事業会計に繰り出し実施する。 X線撮影装置、医療用モニター、電動リモートルモニター、マスク、ガウン、消毒液、グローブの購入	17,832,000	17,832,000		17,832,000		0	一般受診と新型コロナウイルス感染患者を分けるためのX線撮影装置、医療用モニター等を整備。 また、新型コロナウイルスに関する検査や診察で多く消費するマスク、ガウン、消毒液、グローブの購入 陽性患者の入院、診察等を受け入れるための体制を構築することができた。	三戸中央病院	R2.4.15	R2.6.30
5	5	商工業者緊急支援事業	新型コロナウイルスで影響のあった事業者に対して、持続的な経営と雇用の維持を図るため、支援金を交付。売上額が対象月の前年比20%減少した事業者が対象で1事業者あたり10万円	12,600,000	12,600,000		12,600,000		0	新型コロナウイルス感染症の影響で多様な業種の事業者が売上げ減少にみまわられているなか、126事業者に支援金を交付し、事業継続の支援に繋がった。	まちづくり推進課	R2.6.10	R2.8.19
6	6	三戸町学生支援事業	コロナ禍で生活が困難になる町出身の学生に対する就学継続を図るため、その保護者に対して支援金を交付する。 保護者の家から通学している大学生等 50千円/人 保護者の家以外から通学している大学生等 100千円/人	15,650,000	15,650,000		15,650,000		0	学生を持つ町内在住の保護者に対し、171世帯に支援金を交付し、学業の就学の継続に繋がった。	教育委員会	R2.6.12	R2.8.14
7	7	プレミアム商品券発行事業	地域経済の回復及び消費活動の活性化を図るため、町内で使用できるプレミアム商品券の発行。4,000円分を3,000円で購入可能(プレミアム率33%) 1万冊を発行。 プレミアム商品券事業運営事業者である三戸町商工会に対し、補助金を交付 11,000千円	10,971,000	10,971,000		10,971,000		0	全体で38,840,000円相当(プレミアム分9,971千円)が町内事業所及び店舗で利用され、町内の消費喚起につながった。	まちづくり推進課	R2.8.19	R3.3.31
8	11	緊急経済対策商品券交付事業	新型コロナウイルスの影響で低迷した地域経済を回復するため、商品券を配布し、町内の消費喚起を促進させる。 9,800人×2,000円=19,860,000円 郵便料 1,764,000円 商品券印刷等 673,398円 消耗品106,084円	21,439,982	21,439,982		18,896,000	2,543,982	0	全町民に対して2,000円分の商品券を交付し、18,896,500円が町内事業所及び店舗で利用され、町内の経済消費活動の促進につながった。	まちづくり推進課	R2.4.30	R2.10.15

9	12	子育て支援商品券交付事業	休校が続く子供の食費や光熱費等子育て生活の負担軽減を図るため、18歳以下の児童がいる世帯に商品券を交付。 商品券取扱事業費補助金 3,282千円 郵便料 7,418円(簡易書留) 印刷費 143,517円	3,432,935	3,432,935			3,282,000	150,935	0	子育て世帯1,104世帯に対して、3,000円分の商品券を交付し3,282,000円分が町内事業所及び店舗で使用され、町内経済消費活動の促進につながった。	住民福祉課	R2.4.30	R2.11.6
10	13	AIを活用した体温検知システム導入事業	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図るため、検温体制を構築する。各公共施設に、カメラ型、タブレット型の検温装置を設置し、カメラ型検温装置による来場者の記録を取り、感染者の特定ができるように端末を設置する。 機器整備 10,776,000円 機器保守 839,538円	11,615,538	11,615,538			10,776,000	839,538	0	公共施設16カ所に35台の検温装置を設置。検温体制の構築により、職員や来場者の検温習慣が醸成され、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が防止された。	総務課	R2.9.16	R2.11.26
11	14	選挙事務対応用飛沫感染対策事業	選挙において密集を避けた投票体制を構築しつつ、手指消毒及び検温並びに飛散防止リスクの軽減を図るために必要な物品の整備を実施する。ペダル式消毒スタンド、窓空きパーテーション、非接触体温計 アルコールディスペンダーの整備	1,228,150	1,228,150			1,186,000	42,150	0	ペダル式消毒スタンド 4台、窓空きパーテーション 50枚 非接触体温計 30台、アルコールディスペンダー 25台の整備 期日前投票所や投票口の各投票所での感染防止体制が構築され、選挙投票における新型コロナウイルス感染症の感染拡大はなかった。	総務課	R2.8.26	R2.9.23
12	15	新型コロナウイルス感染症等に対応した新たな災害対応スタイルの構築	災害時における、新型コロナウイルスの集団感染を未然に防ぎ、避難行動の円滑化を図るため、町内の各避難所の環境整備を実施する。具体には飛沫や3密防止に係るベッドやテント、フェイスシールド等を整備。	3,553,470	3,553,470			3,500,000	53,470	0	避難所用間仕切り、避難所用テント、折りたたみ避難ベッド、フェイスシールド、ソーシャルディスタンス用ラバーマット、サーキュレーター、段ボールベッド、初動対応セット、寝具3点セット、保存食セットの整備 災害時の感染拡大防止に対応した避難所が整備され、避難訓練も実施し、コロナ禍に対応した運営体制が構築された。	総務課	R2.7.9	R3.3.10
13	16	テレワーク環境構築業務	行政事務に対するテレワーク環境の整備を実施することにより、職員や庁舎内の感染拡大による行政サービス停止を未然に防ぎ、将来的に円滑な行政サービスの提供が図られるように実施する。電子決裁システムの導入、財務会計システムの更新、テレワーク用端末の購入。	28,380,000	28,380,000			28,380,000		0	電子決裁システム及び財務会計システムの構築。ノートパソコン20台の整備。 電子決裁システムの運用により遠隔でも財務関連の決裁が可能となり、コロナ禍における行政サービスの提供が可能となった。また、テレワーク対応のパソコン整備により、オンライン研修やテレワークが可能となり、感染拡大防止につながった。	総務課	R2.10.23	R3.3.26
14	17	「11びきのねこのまちさんのへ」エンジョイアプリ制作事業	当町出身の漫画家馬場のぼるの人気作品「11びきのねこ」を活用したまちづくりを推進し、全国にいるファンとのさらに強固な関係性の構築及び新規ファンを獲得し、アフターコロナの交流人口及び関係人口拡大を図るための11びきのねこ及び三戸町を紹介し楽しんでもらうためのアプリを制作する。11びきのねこと三戸町の紹介、町のナビ機能、スタンプラリー、ねごと一緒に撮れるフォトフレーム及びARの獲得、ファン同士の写真などの共有ができるアプリを制作する。 iOS, androidに対応したアプリを開発 【主な機能】 ・町の紹介 ・GIS機能、町内のお店や観光施設等を搭載したナビゲーション ・デジタルスタンプラリー	4,929,999	4,929,999			4,929,000	999	0	未だ新型コロナウイルスの終息には至らないが、11びきのねこを通じた交流人口増加につながった。 アプリダウンロード数1,062(令和3年度)	まちづくり推進課	R3.12.28	R3.3.26
15	18	コワーキングスペース設置事業	新型コロナウイルスにより、テレワークの導入が加速的に進み、地方移住の関心が高まったことに対して、積極的に移住施策を進めると共に、移住後の受け皿となるコワーキングスペースを整備することで、移住者及び2拠点居住、ワーケーション等の関係人口の拡大を図る。既存町有施設の一部をコワーキングスペースとして整備する。	14,810,000	14,810,000			14,810,000		0	コワーキングスペースSANNHOEとして令和3年4月29日にオープン。オープンスペース21席、個室2席、Mtルーム6席を整備。 社会人では、出社できない社員がワークしたり、オンラインミーティングをしていた。学生はコロナ禍でオンライン学習になった学生の利用につながった。 全体として、主に県内のリモートワーカーが利用し、令和3年度は703人が利用。イベント等も活用し、関係人口の形成にもつながった。	まちづくり推進課	R3.1.18	R3.4.26

16	19	わたしたちの湧水飲料用適合調査事業	町内に湧水が多く存在するが、今まで飲料水になり得る詳細な調査はしていなかったが、アフターコロナに向けて、新たな資源として対外的に発信するための可能性調査として、町内の湧水を採取し水質検査を実施する。予備調査として、町内6カ所の湧水を採取し、一般細菌及び大腸菌の2項目検査を実施。6カ所中5カ所が水道法水質基準に適合。本調査として、予備調査の結果を基に絞り込んだ3カ所の湧水を採取し、水道原水検査39項目及び味について水質検査を実施。3カ所中1カ所が要観察成分が含まれていたが、3カ所全て水道法水質基準に適合。	464,640	464,640	464,000	640	0	町内3カ所の湧水が水道法水質基準に適合しており、飲料水としての活用可能性があることが判明し、町の新たな特産となり得る資源を探すことができた。 現在は包括連携協定を締結している大学へ調査結果を提供し、大学で研究開発中の飲料水に活用することができないか打診し、現在研究中である。	まちづくり推進課	R2.11.26	R3.1.26
17	20	テイクアウト支援事業	未だに外出自粛が続く中、テイクアウトを始めて、販路を増やした飲食店の経営継続を図るため、タクシーと連携したデリバリーサービスの支援及び、情報発信を実施する。	2,561,940	2,561,940	2,423,000	138,940	0	(1)デリバリーサービスを実施しているタクシー会社に対して、配送に係る経費を補助。4件のサービス利用 (2)テイクアウトサービスを提供している町内飲食店のポータルサイトを構築。12店舗を掲載した。約2,700pv (3)ポータルサイト等をインターネットで閲覧し、デリバリー等積極的な飲食店の活用を促すためのインターネット機器の貸し出し。 タブレット30台の整備コロナ禍で経営が苦しい町内事業者によるテイクアウトサービスの促進につながり、消費経済の回復の一助となった。	まちづくり推進課	R2.7.2	R3.3.31
18	21	新しい生活様式に対応した町内会活動環境整備事業費補助金	自治活動の維持継続を目的とし、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じる町内会に対し、その費用の一部を補助金として交付する。新型コロナウイルス感染症拡大防止策を実施する町内会に対し上限25万円を交付(補助率10/10)	4,128,000	4,128,000	4,128,000		0	20町内会が活用。主に外気導入期付きエアコン、空気清浄器ほか、感染予防対策物品の整備。 町内会活動に係る感染予防対策事業・町内会館内の感染予防対策事業を実施したことで、コロナ禍でも安全安心な自治活動が実施された。	まちづくり推進課	R2.10.2	R3.3.25
19	22	町県民税申告相談会場の感染防止対策	令和2年3月に実施した町県民税の申告相談では、新型コロナウイルス対策として消毒・除菌や3密防止を呼び掛けているが、検温や飛沫防止措置が不十分であり、受付業務において、受付番号の交付など、接触機会も多いため、今後の納税相談事務において、除菌や飛沫防止、接触機会の抑制等、感染防止策を実施していく。	979,110	979,110	979,000	110	0	自動発券・アナウンス機能搭載の窓口受付システムの整備、ブースパネルの整備を実施。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が防止され、コロナ禍でも安全・安心な確定申告が実施された。	税務課	R2.10.22	R3.2.8
20	23	新生児子育て応援特別給付事業	令和2年4月27日を基準日として、特別定額給付金を交付していたが、未だ新型コロナウイルスが経済的に影響を及ぼしていることから、基準日以降の新生児が生まれた世帯に給付金を交付することで、家計の支援を実施する。基準日以降に出生した世帯のことも1人につき10万円の交付	4,400,000	4,300,000	4,300,000		100,000	補助対象となる43世帯に対して10万円を給付。 コロナ禍で出産する世帯の生活支援につながった。	住民福祉課	R2.8.11	R3.3.31
21	24	病院医療機器整備事業 三戸中央病院繰り出し	第一次計画申請時において感染患者に対応した、医療・診察体制を緊急的に構築したが、緊急事態宣言解除後の東北圏内は未だ新型コロナウイルスが収束していないことから、これまで以上に新型コロナウイルスの早期発見、クラスターの未然防止等に対応するための機器を整備し、新型コロナウイルス感染症に対応した医療体制の整備を行う。	31,822,000	31,822,000	31,822,000		0	空気清浄器、ベッドサイドモニタ、ノートパソコン、ナーシングストレッチャー、透析装置、超音波装置の整備 陽性患者の入院、診察等で受け入れるための、体制を構築することができた。	三戸中央病院	R2.9.8	R2.10.23
22	25	乳幼児健診会場における感染症対策	緊急事態宣言により中止していた健診を再開するにあたり、未だに収束していない新型コロナウイルスの感染拡大を防止し、乳幼児の健康維持を図るため、健診時におけるマットを整備。抗菌性があり、簡易に除菌ができるものとし、ソーシャルディスタンスの意識向上を図るため、様々な色でゾーニングできる仕様とする。	712,800	712,800	712,000	800	0	1m角のマット100枚を整備。 乳幼児健診において、マットの色彩の効果で、参加者が自発的にソーシャルディスタンスを確保するようになり、感染拡大防止につながった。	健康推進課	R2.10.7	R2.10.21
23	26	三戸町営農集団等経営継続事業	新型コロナウイルスにより多大な影響を受けている農業において販路の回復・開拓及び生産・販売方法を確立し、継続的な営農を実施するための経費の一部に対して、補助金を交付。経営の継続に向けた取り組みに係る、機械整備費、広報費、旅費、開発費等に対し、3/4を補助。	33,747,000	33,747,000	33,747,000		0	泉山りんご組合のりんご貯蔵庫の改修費用に対して補助金を交付。 長期保存可能な貯蔵庫となったため、出荷時期の自由度が上がり売上回復につながった。また、貯蔵庫の運用が電子化され、要していた人員や時間を外にまわすことが可能となり、生産力の向上につながった。	農林課	R2.9.18	R3.10.30

24	30	三町食べ歩きスタンプラリー事業	新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受けた飲食店の支援を実施し経営の持続を図るため、当町を含めた近隣2町と連携し、インセンティブ付きのスタンプラリーを実施する。三戸町、南部町、田子町の3町の商工会で組織された運営団体「三町食べ歩きスタンプラリー実行委員会」を設立し、そこに補助金として交付。3町の飲食店で1000円以上の飲食をするとスタンプが獲得でき、全て揃えたとその場で割り引くことができるクーポンを発行	652,000	652,000	652,000			0	実施期間3.5ヶ月で814枚のクーポンを発行。実施期間中最低でも4,884,000円経済効果があり、飲食店の経営回復、交流人口の拡大につながった。	まちづくり推進課	R2.9.17	R3.3.31
25	31	さんのへ秋まつり山車組等次年度運行事業費支援金	新型コロナウイルスの影響により「さんのへ秋まつり」が中止となったことで、本来、まつり文化の継承に係る経費や山車等まつり関連用品の維持管理経費を、開催時に寄付でまかなっていた収入が見込めなくなったことに伴い、来年度のまつりへの継続参加を維持するために支援を実施する。	720,000	720,000	720,000			0	山車運行団体7団体と伝統芸能の獅子舞保存会に支援金を交付。山車組団体100千円、獅子舞20千円。お祭り関連用品の整備及び祭り囃子の練習を実施することで、伝統文化の継承と次年度開催の準備が完了した。	まちづくり推進課	R2.8.12	R2.8.25
26	32	三戸町新型コロナウイルス感染症対策事業者持続化支援金交付事業	新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が解除された後も、依然として多大な影響がある町内工商业者に対して、経営の維持継続のための支援金の交付。町内に事業所を有する個人または法人に対し、前年同月と比較して30%減収した場合に1ヵ月5万円を交付(最大3ヵ月分)	6,352,000	6,352,000	6,352,000			0	72事業者に対して6,352千円の給付を実施した。売上の減少にみまわられている事業者、経営維持・事業継続につながった。	まちづくり推進課	R2.9.9	R3.2.10
27	33	中央公民館・ジョイワーク 空調設置工事	災害時の避難所として三戸町中央公民館を使用しているが、昨今の台風、大雨等による災害が増加傾向にあること共に、新型コロナによる避難所内のクラスターを防止するため、3密対策の必要があり、避難する空間・施設の分散し確保することが急務である。本事業は、3密防止に対する避難場所の確保及び空調の整備を実施し、未だ収束しない新型コロナウイルスの感染拡大防止に対応する。	9,086,000	9,086,000	9,086,000			0	三戸町中央公民館の事務室、和室及び多目的施設の「ジョイワーク三戸」の空調整備。新型コロナウイルス感染拡大防止によるマスクや換気により、熱中症等が懸念されたが空調整備をすることで、安全・安心な避難所利用が可能となり、地域活動の活性化にもつながった。	教育委員会	R2.11.20	R3.3.3
28	34	学びの補償支援事業	緊急事態宣言を受けて町内小中学校が臨時休校をした際、学習主体が紙ベースの宿題となり、学習の進捗に影響が出た。今後、家庭では宿題のみではなく、より効果的な学習の提供及び臨時休校にも対応した学習体系の確立を図るため、GIGAスクール関連の事業と連携し、通信による学習に資する機器の整備を行う。 ※家庭に提供する通信機器整備は文科省所管の補助金	3,149,300	3,149,300	3,149,000	300		0	教職員用端末70台の整備。 児童生徒1人1台端末の整備が行われたことで、学校の臨時休業の際にもオンラインによる学習支援が行われるなど、学びの補償が図られた。	教育委員会	R2.10.23	R3.3.10
29	35	パークゴルフ場指定管理者支援事業	三戸町における健康増進と町外からの誘客拡大を図るため、平成28年10月にパークゴルフ場をオープンし、4年が経過したが、新型コロナウイルスの影響により、収入が減少し、運営に支障をきたしている。本事業は、今後のパークゴルフ場の維持管理を円滑にし、収束後の積極的な活用促進を図るため、現在の指定管理者に対し支援を実施する。	437,732	437,732	437,000	732		0	運営している指定管理団体に437,732円の協力を給付。感染拡大防止策を講じつつ、町民の健康福祉の推進及び交流人口の拡大につながった。	教育委員会	R2.10.23	R3.3.10
30	36	温故館ライトアップ事業	当町には三戸南部家の居城であった三戸城跡がある。重要な町の歴史遺産であり、現在では城山公園として主要な観光地となっているが、新型コロナウイルスの影響で、観光客が減少している状況にある。本事業では、新型コロナウイルスの収束を見据え、観光客誘致を図るため、4月初めからライトアップができるよう、城山公園内の代表的な建造物である温故館にライトアップ機器を設置する。三戸町立歴史民俗資料館「温故館」へのライトアップに係る投光器設置工事及びフェンス設置工事	5,159,000	5,159,000	5,159,000			0	三戸城跡城山公園で行われる「さんのへ春まつり」と秋の紅葉時にライトアップを行い、夜の観光客の増加につながった。	教育委員会	R2.11.20	R3.3.12
31	37	議場音響設備等改修事業	新型コロナウイルス発生下においてもスムーズに議会を運営できるよう、機器の更新を行うほか、傍聴席以外の複数箇所において議会の傍聴ができるよう環境を整備、開かれた議会の推進を図る。	31,482,000	31,482,000	31,482,000			0	議場内のアクリルパーテーションの整備。 議場の音響及び配信機器の整備。 議場以外での傍聴が可能となり、感染リスクを軽減しつつ、傍聴が可能となった。	議会事務局	R3.3.5	R3.8.31

32	38	南部バスICカード導入事業	町公共交通機関の南部バスが、キャッシュレス化推進及び接触機会軽減による感染拡大を防止するために、ICカード決済システムを導入する費用に対し、町が支援することで、安全安心な交通体制を推進する。南部バスにSuica等対応のICカード読みとり及び決済機器を整備	1,140,000	1,140,000			1,140,000		0	キャッシュレスになることで、接触機会の軽減から感染リスクを減らすことができた。	総務課	R3.2.26	R4.3.25	
33	39	道の駅トイレ自動ドア設置事業	町内外の人が多く集まる道の駅のトイレの接触感染対策防止を図るため、トイレ入り口を自動ドア化する。	2,277,000	1,793,000			1,793,000		0	484,000	自動ドアによる接触機会の軽減を図ることで、感染拡大防止につなげることができた。	まちづくり推進課	R3.1.28	R3.3.23
34	40	町有建築物内トイレ改修事業	公共建築物のトイレは和式のものが多く、新型コロナウイルスの感染者が利用した場合、飛沫感染リスクが非常に高いため、施設のトイレを洋式化し、感染リスクを軽減することで、施設内活動の維持継続を図る。町有施設9カ所のトイレの水洗化を実施	10,582,000	10,582,000			10,582,000		0		和式から洋式へ改修し、飛沫リスクを軽減することで感染拡大防止につながった。	総務課、教育委員会、農林課	R3.1.27	R3.3.24
35	41	三戸城跡城山公園施設整備事業	三戸城跡城山公園は重要な観光施設となっており、イベント会場としても多く使われている。また、国史跡指定の手続きも進んでおり、多くの人を集客できる施設として期待されることから、新型コロナウイルス終息後の町の経済回復を図るために、3密になりにくい屋外の利点を生かしながら、園内の改修を実施する。イベント開催に重要なイベント広場ステージの改修 園内イス・テーブル・遊具の改修 園内トイレの洋式化	9,941,800	9,941,800			9,941,000	800	0		コロナ禍における安全安心な観光施設の整備及びアフターコロナにおける観光事業の推進が図られた。	まちづくり推進課	R3.2.12	R3.3.31
36	42	新型コロナウイルス感染症対策物品購入事業	接触感染や飛沫感染を防止するため、レバーハンドル、パーテーション、アルコール消毒液を購入し、公共施設に設置する。回転式ハンドルから交換するためのレバーハンドルの購入、アクリルパーテーションの購入、アルコール消毒液の購入	1,093,950	1,093,950			1,093,000	950	0		感染拡大が終息しない感染防止策を実施することにより、感染拡大防止につながった。	総務課	R3.2.17	R3.3.4
37	43	三戸町新型コロナウイルス感染症対策事業者持続化支援金交付事業第2弾	新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が解除された後も、依然として多大な影響がある町内商工業者に対して、経営の維持継続のための支援金の交付。47事業者に最大15万円の交付	6,624,000	6,624,000			6,624,000		0		売上の減少にみまわられている事業者、経営維持・事業継続につなげた。	まちづくり推進課	R2.12.22	R3.2.10
38	45	三戸町中央児童館改修事業	コロナ禍でも、現在の学童保育を継続して提供するため、部屋を一つ追加することで児童の密集を防ぐとともに、内装の抗菌化、自動水栓等感染リスクの低減措置を実施する。中央児童館改修に係る工事費及び設計委託を実施。	7,865,000	7,865,000			6,820,000	1,045,000	0		床の抗菌化、トイレの水洗化により児童の感染拡大防止につながった。	住民福祉課	R2.12.18	R3.8.31
39	46	生き生き教室送迎車両整備事業	高齢者の介護予防のため、趣味や創作活動を行う場を提供する「生き生き教室」の事業の中で、利用者を一定区間の送迎するサービスも実施しているが、感染拡大防止措置を施した車両を更新し、安心安全な事業の遂行を図る。送迎車両の購入及び、間仕切りの設置、空気清浄機(プラズマクラスター)の取り付け	3,868,133	3,868,133			3,868,000	133	0		新型コロナウイルスの影響でイベントや行事が中止になるなか、感染拡大防止策を講じた車両を整備することで、コロナ禍でも行政サービスが継続可能となり、健康福祉の推進が図られた。	健康推進課	R2.12.28	R3.3.30

40	47	武道館間仕切り設置事業	新型コロナウイルス感染拡大から守り、地域のスポーツを継続的かつ安全に活動するため、現在、空間がつながっている剣道場と柔道場に仕切りを設置するもの。仕切りの設置に係る工事費及び設計委託料	3,080,000	3,080,000		3,080,000			0	空間を仕切ることで、感染拡大を防止し、地域のスポーツ活動が実施できた。	教育委員会	R3.1.25	R3.3.29	
41	48	体育施設音響等整備事業	三戸町民体育館と三戸町スポーツ文化福祉交流施設アップルドームでは、町民の日常活動の外、町の主要なイベント会場としても使用され、町外からも多く訪れている。本事業では、新型コロナウイルスの終息後を見据えた、町への誘客促進と町内の消費経済活性化を図るために、必要な設備等を整備する。 三戸町民体育館 イベント用のイス・テーブルの整備 三戸町スポーツ文化福祉交流施設 音響設備、移動式ステージ、防災カーテン、イス・テーブルの整備	9,000,816	9,000,816		9,000,000	816		0	イベント会場のほか地域のスポーツ・文化活動としても使用され、コロナ禍の活動の推進となった。	まちづくり推進課	R3.1.28	R3.3.17	
42	49	大学生等応援のための特産品贈呈事業	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、不自由な暮らしをしている町内出身の学生に対して、学業継続及びふるさとに対する郷土愛の醸成を図るため支援するもの。 一人あたり5千円相当の地域特産品を送付。	954,800	954,800		954,000	800		0	町内出身の学生に対して合計140件の特産品をおくり、生活に困窮している学生の学業専念に寄与した。	教育委員会	R3.2.19	R3.3.22	
43	50	さんのへ応援商品券第2弾交付事業	未だ新型コロナウイルスの影響で低迷している状態の地域経済を回復するため、商品券を配布し、町内の消費喚起を促進させる。 全町民に対して1人当たり3,000円分の商品券を交付。	32,408,499	32,408,499		21,464,051	10,944,448		0	27,388,500円が町内事業所及び店舗で使用され、町内経済消費活動の促進につながった。	まちづくり推進課	R3.2.15	R3.10.1	
44	51	三戸町新型コロナウイルス感染症対策事業者持続化支援金交付事業第3弾	依然として新型コロナウイルス感染拡大による多大な影響がある町内商工業者に対して、経営の維持継続のため、支援金を交付する。令和2年12月から令和3年2月までの売り上げの合計額が前年度同月の合計額と比較して、30%減少した場合、一律15万円を給付し、売上が30万円に満たない場合は2分の1を乗じた額を上限額として給付する。	6,269,000	6,269,000		6,269,000			0	新型コロナウイルス感染症の影響で多様な業種の事業者が売上げ減少にみまわられているなか47事業者に交付し、事業継続の支援につながった。	まちづくり推進課	R3.4.2	R3.5.25	
45	52	GIGAスクール事業(地方負担分)	国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現 教育用端末について:児童生徒数1/3は地方財政措置で事業を進める。 遠隔学習用備品について:町の単独分財政措置で事業を進める。	9,268,800	9,268,800		9,268,000	800		0	児童用生徒用端末206台の整備。 児童生徒1人1台端末の整備が行われたことで、学校の臨時休業の際にもオンラインによる学習支援が行われるなど、学びの補償が図られた。	教育委員会	R2.7.28	R3.1.13	
46	53	子ども・子育て支援交付金	新型コロナウイルスの影響により、町内学校の臨時休校に伴い、開館時間の延長をした町内児童館に対する支援を実施。 町内2箇所の児童館の開館時間延長に伴う経費への支援	242,000	169,000	56,000	57,000	56,000	73,000		0	学校の臨時休校時に児童館が開館できたことで、学習の遅れを避けることができ、児童の親の負担軽減が図られた。	住民福祉課	R2.4.22	R2.5.6
47	54	学校保健特別対策事業費補助金	新型コロナウイルスの影響により臨時休校を実施した学校に対して、マスクを支給し、感染拡大防止策を実施する。 染症対策に必要な物品の購入 50枚入りマスク1,750円×110セット	212,000	212,000	101,000	101,000	10,000		0	小中学生の感染防止対策につながり、学習の継続が図られた。	教育委員会	R2.9.7	R2.9.17	

48	55	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開に伴う感染症対策に係る事業費を支援することで、児童生徒の学びの補償をする体制を整備する。 教育用のパソコンの整備 100,000円×29台=2,900,000円 校舎内トイレ・手洗い場の自動水洗浄 100,000円×12カ所=1,200,000円 その他感染症対策に係る備品 充電保管庫 1台172,000円 ハンズフリー拡声器 10台216,000円 プロジェクター 1台 121,000円 液晶ディスプレイ 3台 68,000円 wifiルーター 1台 158,000円 その他感染対策用消耗品 665,000円	5,144,546	5,144,546	2,572,000	2,572,546			0	学校再開に伴い、密を避けるための朝礼のオンライン化、休んでいる児童生徒に対する授業配信などの実施の他、校内の感染防止対策が行われることで、感染リスクを低減させ学びの補償をするための取組を行うことができた。	教育委員会	R2.7.16	R3.3.23
49	56	公立学校情報機器整備費補助金	新型コロナウイルスの影響により、休校になった場合でも、自宅と学校との遠隔学習ができる等、学びの補償をするための機器を整備を支援する。 ヘッドセット、WEBカメラの整備	380,832	380,832	70,703	70,703			0	ヘッドセット32台、WEBカメラ32台を整備。 密を避けるための朝礼のオンライン化、休んでいる児童生徒に対する授業配信などが実施され、コロナ禍においても感染拡大の防止や学びの補償を図ることができた。	教育委員会	R2.12.17	R3.1.21
50	57	公立学校情報機器整備費補助金	GIGAスクール構想の実現に向けた教育現場の急速なICT化に対応するためのサポート体制を整備を支援する。GIGAスクールサポーター2人によるサポート対応。	2,296,800	2,296,800	1,148,000	1,148,800			0	これまで経験したことのない教育現場の急速なICT化が進む中、専門的知識を有する者からのサポートを得られることで、学校や教育委員会の不安や負担が軽減され、オンラインや遠隔学習等、コロナ禍における児童生徒の学習体制を構築することができた。	教育委員会	R2.11.16	R3.3.29
51	58	学校臨時休業対策費補助金	臨時休校に伴い、すでに発注されている食材がキャンセルされ、事業の継続が困難になると見込まれるため、青森県学校給食会に対して支援する。 米飯加工費 214,368円 パン加工費 54,023円 牛乳 231,509円	499,000	499,000	373,100	125,900			0	事業者による給食食材の提供事業の継続が図られた。	教育委員会	R2.5.29	R2.6.30
52	59	障害者総合支援事業費補助金	新型コロナウイルスの影響により、利用者が施設へ、受け入れに対する感染防止策等に要した経費を支援する。 2施設への支援金 地域活動支援センター 122,000円 日中一時支援事業者 158,351円	122,000	122,000	61,000	31,000			0	感染拡大防止措置を実施しつつ、障害者就業・生活支援センターの受入が継続された。	住民福祉課	R2.4.1	R3.3.10
合計				400,880,543	400,223,543	4,381,803	379,739,000	16,102,740	657,000					